(C) ChemStation データ解析

LC2.2波長(DAD、FLD など)以上の組み合わせで取ったデータで、1波長だけ表示させたり、レポート作成をするには、どのようにしますか?

「シグナル詳細」の機能の利用と、読み込み時の基本設定を変更することで可能になります。 以下の2ヶ所を設定する必要があります。

①データ解析画面で[キャリブレーション]→[シグナル詳細]を選択して、使用可能シグナルから希望のシ グナルを選択してメソッドに追加します。追加すると、したのシグナル情報一覧に表示されます。

新しいキャリブレーション テーブル(N) キャリブレーション テーブル削除(E) リキャリブレーション(R) レベル追加(A) ピーク追加(P)	 シグナルの非確:機器 1 使用可能ジグナル DAD1 A, Site=254,4 Ref=360,100 メソッドに追加 行挿入 行追加 行削除 シングナル・体報 開始 終了 ディレイ マライホル ピーク 1 	₩-5
キャリブレーション設定(S) キャリブレーション詳細設定(V)		L-7
キャリブレーション テーブル オプション(0) ・		
ビーク選択(K) ビーク削除(E) ビーク追加(D) 化合物のリキャリブレーション(C)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	•
キャリブレーション テーブル(T) 化合物グループ(C) シグナル詳細(I) コントロール サンブル VJミット(M)	プルダウンメニューでシグナルを選択して、 メソッドに追加をクリック。	

(C) ChemStation データ解析

LC2.2波長 (DAD、FLD など) 以上の組み合わせで取ったデータで、1波長だけ表示させたり、レポート作成をするには、どのようにしますか?

②データ解析画面で[表示]→[プレファレンス]を選択して、「シグナル詳細を使用して読み込み」にチェック を入れてOKをクリックします。

すると、シグナル詳細に登録のあるチャンネルのみ読み込まれて、レポートされるようになります。

プレファレンス
パス シグナル/レビューオブション 監査証跡
シグナル読み込み
● シグナル詳細を使用して読み込み(L)
▼ 読み込み後積分(1)
■ 読み込み後積分およびレポート印刷(P)
オートステップ間隔 10 sec
再計算モードでシングルランの読み込み
☑ 最後のデータ解析用に使用されるマスターメソッドを自動に読み込む
結果セット読み込み
◎ 読み込み後、現在のモードを維持(再解析または再計算モード)
OK キャンセル ヘルプ